

水の山 寶清寺



境内には毎年沢山の花が咲きます。六十一号より裏面に宝清寺の花々を紹介しています。

お彼岸九月二十日～二十六日 龍の口法難会九月十二日 お盆式

十日、あるお檀家の奥様が最近、気になることばかり起こるので、家内安全と身体健全のご祈禱をして欲しいといらっしゃった。ご祈禱が終わった後、今度お寺で何かされる時の足しにして下さいと金一封を置いていかれた。このことを機にお寺で何かすることはないか考えた結果、たちばな新聞で紹介させて頂いたとおり、篤志家の陰徳（寄進者の名前を出さずに寄進されること）・陽徳（名前を出して寄進すること）によって、先代師父住職が建立した「七面堂」が充実して生まれ変わった。当山では、七面堂の右脇に「八幡大菩薩」をお祭りしているが雨ざらしのためか、古びていたんだ状況にある事に気づいた。八幡大菩薩について日蓮聖人は、「釈尊はインドに法華経を説き、日本国では八幡大菩薩として示現した」と、釈迦の化身とし、「神は第一天照太神・第二八幡大菩薩・・・朝夕に国家をみそなわし給う」と、日本国の

守護神として日本第二の神として位置づけ、「日本守護の天照太神八幡大菩薩、人の眼をおしむがごとく、諸天の帝釈を敬うがごとく、母の子を愛するが如く守る」と、法華経を持つ人を守護するとしている。戦国の武将が大事な戦の時、戦場に、南無八幡大菩薩の幟を軍旗として持参した。お檀家の故野村浩司さまが生前先祖が残した家宝だが自分では護りきれないと言って、軍旗として使った八幡大菩薩の掛け軸を奉納された。現在、本堂右脇の床の間に掛けてある。昨今の社会の混乱を見た時、住職として八幡大菩薩を整備し、皆様の守護を祈願したいと思っております。

住職ひとこと 龍の口法難会

イタリアの世界遺産に落書きをした大学生や野球部のコーチがいた。人は滅多に來られない場所に來られた喜びから、自分の名前などを記すのだろう。日本の名所旧跡においても、関係者は來訪者の落書きに悩んでいる。「西遊記」に孫悟空がお釈迦様の教えに反抗し、お釈迦様の手の届かない遠い所に行くと言って、筋斗雲（きんとん）に乗ってはるか遠くまで來た。ここまで來れば大丈夫だろうと思つた孫悟空の目の前に五本の柱が目に入った。丁度良いと真ん中に「悟空來る」と書き、お釈迦様のところに戻り伝えたところ、お釈迦様はこれかと自分の手を広げて見せた。孫悟空はお釈迦様の手の中から出られなかったという話が載っている。また、明治の文豪森鷗外・夏目漱石は、「自分がこのように生きてきたというあかしを書籍に残したいだけだ。」と自身の小説執筆について述べているが、世界遺産の落書きは、残したい気持ちは一掃でもこれらとは大分次元の違う話だ。最近、経済や社会の情勢からパートや派遣で仕事をすることが多い。多くの人はたがはすぐに人の取り替えが出来ることから、その人の能力や人柄を發揮することが出来にくい。従って、仕事や生き方を通して、自身の足跡を残すことが難しい世の中になった。昔は先祖と共に家族があつた。各寺院の本堂には年回に故人の菩提のためにと仏具が奉納されている。奉納した人たちは、そこに「先祖に感謝し、生きていくあかしを記した」と思われる。今こそ、家族が異体同心に支え合い、仏事の折などに「どう生きるか」を学び、「このように生きてきた」と語り継がれるように心掛けて、今の厳しい社会を生き抜いていきたいものです。

日蓮聖人遺訓十五 「異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事か叶うべからず。」

一本の矢は折れても三本の矢は折れないという。人が心から一致団結すれば不可能というのではないだろう。

Q&A

Q「お仏壇でもお墓でも、お参りする時には必ずといって良いほど、お水・お水・お線香をお供えしますが、なぜですか。」
A「それは、インドから伝えられた習慣です。インドの言葉サンスクリットに「プージャ」という語があり、日本語に訳すと「尊敬」とか「尊敬の思いをこめたもてなし」という意味なのですが、インドの人たちは今でも「客人供養」とか「お客さまに供養する」という意味の「ア

ティティプージャ」を行っています。つまり、お客さまを自宅に招いて心から尊敬し、おもてなしをし、供養をしているのです。この時に忘れることなく調えられるのが、美しいお花と清らかで冷たい水とお香なのです。庭に咲いた花や町で買ってきた花に糸を通して花輪を作り、お客さまにプレゼントします。インドは熱くかわいた土地が多く、どこでも水は宝物です。その水を用意して飲み水はもちろん、顔や手足を洗って頂きます。お香は、暑さを忘れさせて、気分をさわやかにする自然の清涼剤として、お客さまの疲れを癒やします。

私たちがご供養のために用意するお花・お水・お線香は、インドの國でも行われている「客人供養」のお客さまご接待の作法そのままなのです。日本にも昔はご近所や親戚のつき合い・会社の同僚や上司・友人との交流が生活に密着してあつた。食事の後に使われる「ご馳走さま」という言葉は本来、訪問した際、お世話になった相手に対し「走りまわりお世話を掛けました」と「ねぎらう」言葉として生まれたものようです。昔は人々の交流が頻繁に行われ、そこから人々は社会性を身につけていったと思われま

どうぞ、お彼岸にはご家族そろってお仏壇に、お墓に、「大切なお客さまをおもてなしする心」でお花・お水・お線香を用意してお参りするように心掛けて下さい。

女性士族の物語

野崎千秋・辻口富士子の両名が退職し、新たに、萩原宏恵さんが加わり、現在勤務の岩間雅美・坂井美千代の三名で皆さまのお世話を致します。

宝清寺年中行事

三月 彼岸中日・塔婆 供養
 四月 八日・花 祭 供養
 七月 十七日・孟蘭盆会 供養
 七月 十七日・お施餓鬼法要
 十月 十二日・お会式 法要
 九月 彼岸中日・塔婆 供養

日蓮宗の聖日

二月 十五日・釈尊涅槃会
 二月 十六日・宗祖降誕会
 四月 八日・釈尊降誕会
 四月 二十八日・立教開宗会
 五月 十二日・伊豆法難会
 五月 十七日・身延御入山
 七月 八日・本尊始願会
 八月 二十七日・松葉谷法難会
 九月 十二日・龍ノ口法難会
 九月 十八日・池上御入山
 十月 十三日・宗祖御会式
 十一月 十一日・小松原法難会

御祈願・御供養

交 通 安 祈
 商 繁 盛 祈
 虫 厄 祈
 方 位 祈
 除 厄 祈
 星 運 産 祈
 安 守 祭 願 除 封 願 全

このほかにも諸祈願や自動車のお祓いや、年忌供養・祥月命日供養・月命日供養等も行っております。詳しくは寺務所までご相談ください。

孟蘭盆お経まわりをおえて

私には故郷がない。幸いかな、高速道路の40km以上におよぶ渋滞の経験や、乗車率一四〇%以上にもなる電車にも乗ったことがない。しかし、故郷のある人の感動も味わったことがないのは淋しいかぎりである。

七月、八月と各ご家庭にお盆のお経まわり(棚経)にうかがった。どこの家でもご先祖様をお迎えする準備がなされているが、飾り付けやお供え物は百人百色である。ご先祖様をお迎えするのに、なにが正しいとか、間違っているなどというものはなく、心のこもったおもてなしが大切だと思う。

故郷に帰ってから、ご先祖様をお迎えする人もあれば、お寺の施餓鬼会で先祖供養をされる方もいるであろう。供養の方法も種々であるが、ご先祖さまにとって子孫や親類の家は故郷のようなところではないだろうか。

本年の棚経を無事終えることができた。盛夏の折、お経まわりをさせて頂いた私は、皆様の笑顔でお迎えくださったのを見て、ご先祖様もよろこんでいらっしやると感じた。

八幡様のお参り

宝清寺には多くの仏様や菩薩様がまつられています。本堂より見て、右手に浄行堂と七面堂がありますが、その間にひっそりと立っているのが八幡堂です。八幡堂には八幡大菩薩がまつら

れています。永い間、風雨にさらされて少し古くなっており、かたじけなく思います。

日蓮聖人は、『行者仏天守護鈔』に「されば法華経をたもつ人をば、釈迦多宝十萬の諸仏、梵天帝釈日がつし多宝うじん、にほんしゅうご、月四天、竜神、日本守護の天照太神八幡大菩薩、人の眼をおしむがごとく、諸天の帝、釈を敬ぶがごとく、母の子を愛するが如く守りおほしめし給へべき事、影の身にしがふが如くなるべし。経文に云く、諸天風夜常に法の為の故に之を衛護したまう」と述べられています。

八幡大菩薩は法華経を信じ、また法華経を持つ人(法華経の教えを守る人)を守護するとおっしゃっているのです。我々は多くの人々によって生かされています。両親親類や近隣の方々のお世話になり、また天の恵みによって日々の食物をいただいています。自分ひとりで生きていると思うことは、とても傲慢な考え方です。

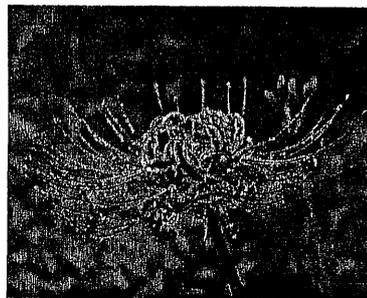
仏様に守られ、自然の恵みや多くの人々によって生かされているのですから、感謝の気持ちを忘れずに、日々の生活を送りたいものです。

宝清寺の草花

彼岸が近づくと、彼岸花の見頃がやってきます。毒があるとか、名前が悪いと

か、とかく敬遠されることが多いようですが、別名として曼珠沙華と呼ばれ、法華経の中にも登場し、「天上の花」という意味を持つており、良いことが起きる兆しとして、天上から降り注ぐといわれています。

お彼岸のお参りの際は、曼珠沙華を探してみてもいいかがですか。良い兆しにめぐりあえるかも知れませんよ。



健康の秘訣

本年も猛暑日が続く、熱中症で身体の具合を悪くする方が多いようです。のどが乾いたと思ってから水分を補給するのは、遅いといわれています。早めの水分補給をこころがけてください。また、お茶やウーロン茶を飲んでるので安心だと言われる方がいますが、お茶やウーロン茶は利尿作用もあり、身体の水分を出してしまう事があります。一番良いのは、水を補給することだと思います。またスポーツドリンクでもけっこうです。

睡眠中には、コップ二杯以上の汗をかいているそうです。朝一杯の水を飲むことは、特に良いといわれています。

編集後記

新聞をご覧の皆さまからの投稿を募集します。「健康の秘訣」や、身近にあったこと、仏教に関する質問なども受け付けます。ご連絡は下記住所まで、お手紙をお送りください。